

愛知大学 入学者受入方針（アドミッション・ポリシー）

●大学全体

愛知大学では、「世界文化と平和への貢献」「国際的教養と視野をもった人材の育成」「地域社会への貢献」を建学の精神としており、これに基づいた人材を社会に送り出すことを使命としています。また、建学の精神に即した人材として成長が期待できる学生の選抜を目標としています。

愛知大学には多様な専門教育を行う学部がありますが、いずれの学部に入學するにしてもカリキュラムは高等学校で身につけた幅広い分野にわたる基礎学力を前提としています。基礎学力をバランス良く備えた入学者を選抜するために、3教科以上を課す一般入試に重点をおいた入學試験を実施しています。

なお、推薦入試についても、一定水準以上の学業成績を求めるとともに、高等教育を受けるために必要な基礎学力を把握するための学科試験（英語・国語）を課しています。また、学力以外の面においても、優れた能力や豊かな経験に基づく各学部専門教育への強い興味や関心、勉学意欲を持つ者を求めています。

●法学部 法学科

法学部では、養成する人材として以下のことを考えています。

《養成する人材》

- (1) 社会正義や人権への理解を基礎として、対立する利益や価値を調整できる人材。
- (2) 法や政治についての基本的な知識を現実の場面で応用できる人材。
- (3) 社会の現実の問題から法や政治についての問題を見つけだし、その問題を解決できる人材。
- (4) 国際的な観点から、わが国の法や政治の特徴や問題を把握して、将来への構想を考えることができる人材。

入學志願者に期待することとして、以下の(1)～(3)を考えています。

《入學志願者に期待すること》

- (1) 法や政治、さらに経済など、社会科学の扱うさまざまな事象への関心を持ち、社会正義や人権についての感覚を大切にしていること。
- (2) 法や政治、社会的な諸問題を構造的に理解した上で、その考えを応用してさまざまな問題に対処し、社会に貢献したいという強い意欲を有すること。
そして、その基盤として、高等学校の各教科、とりわけ国語、地理歴史・公民、数学について基本的学力、および論理的思考力を一定程度備えていること。
- (3) 以上の期待される事がらをより深く理解するために、国際的な観点からわが国の法および政治の特徴や問題を把握する強い意欲を有すること。そして、そのために必要な外国語の基礎的な能力を備えていること。

●経済学部 経済学科

経済学部では、教育研究上の目的の一つは、「経済学に関する専門的学芸を教授することに加え、幅広く深い教養、総合的な判断力、豊かな人間性を養うことを目標とする」ことにあります。経済学部では、以下のような学生を求めます。

- (1) 主体的に学習する意欲を持っている人。
- (2) 経済・社会に関心を持っている人。解決を必要とする問題を発見し自ら解決できる経済学の専門知識と教養を修得する意欲と実行力を持っている人。
- (3) 地域社会、国内外の社会で活躍、貢献したいと思っている人。

- (4) 他者への思いやりや公正さを重んじ、異なる考え方を尊重する、自立した社会人になりたいと思っている人。
- (5) 柔軟な思考力、創造力を備えるとともに、コミュニケーション能力や表現能力を高めたいと思っている人。

いずれの入試においても基礎学力（具体的には、高等学校の各教科、とりわけ、国語、数学、外国語、地理歴史、公民、理科の基礎学力）を有することを求めますが、一般入試以外の入試方式に関しては、学力以外の面において優れた学生や経験を持つ学生にも門戸を開き、小論文では、論理的思考力、的確な主張、文章の表現力などを問います。留学生については、日本語による会話・コミュニケーション能力などについても重視します。

●経営学部 経営学科

経営学部経営学科では、ビジネス・マネジメント、流通・マーケティング、情報システム、国際経営の各領域について基礎的・専門的知識を体系的に学習し、幅広い視野からさまざまなビジネスの現実を分析・解決する能力を備えた人材、そして経営管理に関する実践的なスキル・知識を習得し、グローバル化した国際ビジネス社会のなかで主体的に活躍できる人材を育成することを目指しています。

本学科は、こうした目標から、経営学の諸領域をより専門的に幅広く学びたいという学習意欲の高い人の受入れを考えており、そのために入学希望者に一定の学力を求めています。

[一般入試] 高等学校段階の国語、外国語、地理歴史、公民、数学等について十分な基礎学力、並びに論理的思考力・判断力・表現力を総合的に備えている人。

[推薦入試] 学業・人物共に優秀であると認められ、様々な課題に積極的に取り組んできた実績を有する人で、本学科での学習に円滑に移行することができる程度に高等学校段階の国語、外国語、地理歴史、公民、数学等について一定の基礎学力、並びに論理的思考力・判断力・表現力を備えている人。

本学科は次のような入学希望者を受入れたいと考えています。

- (1) 企業、商品、市場の動向などダイナミックに変化している経済社会に強い関心をもった人。
- (2) ビジネスや行政などのさまざまな領域で活躍し、社会に貢献することを考えている人。
- (3) 国家資格等を取得して、特定の専門職のプロフェッショナルを目指そうとする人。

●経営学部 会計ファイナンス学科

経営学部会計ファイナンス学科では、経済社会の様々な分野で活躍していくために必要となる会計やファイナンスの専門的知識と実践的スキル、そして人間社会を文化的により豊かに生きていくために必要な教養をバランスよく身につけ、自己の能力を主体的に高めていくことのできる社会的に信頼された人材の育成を目指しています。

本学科は、こうした目標から、会計やファイナンスをより専門的に幅広く学びたいという学習意欲の高い人の受入れを考えており、そのために入学希望者に一定の学力を求めています。

[一般入試] 高等学校段階の国語、外国語、地理歴史、公民、数学等について十分な基礎学力、並びに論理的思考力・判断力・表現力を総合的に備えている人。

[推薦入試] 学業・人物共に優秀であると認められ、様々な課題に積極的に取り組んできた実績を有する人で、本学科での学習に円滑に移行することができる程度に高等学校段階の国語、外国語、地理歴史、公民、数学等について一定の基礎学力、並びに論理的思考力・判断力・表現力を備えている人。

本学科は次のような入学希望者を受入れたいと考えています。

- (1) 企業活動、金融市場の動向などダイナミックに変化している経済社会に強い関心をもった人。
- (2) 一般企業、行政および教育などのさまざまな領域で活躍し、社会に貢献することを考えている人。
- (3) 公認会計士、税理士および国税専門官などの会計専門職を目指そうとする人。

●現代中国学部 現代中国学科

現代中国学部では、現代中国について人文・社会科学両面からの総合的な教育・研究を行い、国際的な視野と識見を備えた日中の架け橋となる人材の育成を目標としていますが、グローバル化が急速に進む現代社会においては、それに対応できる人材つまりより広義でのグローバル人材の育成が求められています。現代中国学部の考えるグローバル人材は、相手が日本人か外国人かにかかわらず積極的に話しかけることができ、また内容的に時には広く時には深く掘り下げた話ができる知識を持ち、それを正確に伝えるためのすぐれたコミュニケーション能力を持ち、お互いの違いを乗り越えて協働できるような人材であり、現地主義教育を中心とした多彩な教育を通してその育成を行っています。

現代中国学部はこのような教育目標にふさわしい者として、高校で学ぶ基礎的学力を有することに加えて次のような学生を求めています。

- (1) 中国に対して強い関心と勉学意欲を持っている人。
- (2) 現代中国研究に根ざしたグローバルな視野で社会貢献をしたいと思っている人。
- (3) 中国をはじめ国際社会で活躍したい人。
- (4) 異文化体験を通して、自己発見したい人。
- (5) 社会との関わりを見つめ、自ら成長したいと思っている人。

●国際コミュニケーション学部 英語学科

国際コミュニケーション学部英語学科では、英語圏の言語であると同時に国際共通語の地位にある英語の高度な運用能力の習得を柱に、言語、文化を深く学びます。高校で学んだ英語の基礎知識をもとに、双方型の少人数授業を通してコミュニケーション能力を身につけることに重点を置いています。

言語に対する深い理解、異文化間コミュニケーション、日本文化に対する知識、海外研修・国際フィールドワークなどを通して、多様な国際社会で互いを尊重し、高度な語学力と判断力を持って世界の人々と対等に渡り合えるコミュニケーション能力を持つ人材の育成を目指しています。

このような観点から英語学科では以下のような学生を求めます。

- (1) 英語をはじめとする外国語の習得に強い関心と勉学意欲を持っている人。
- (2) 異文化理解に関心を持ち、異文化体験を通して視野を広げたいと考えている人。
- (3) 英語を通して国際貢献・社会貢献をしたいと考えている人。
- (4) 企業の海外事業や国際流通部門、航空業界、旅行会社等、高い語学能力と国際理解力が必要とされる職業に就きたいと考えている人。
- (5) 英語教師となり地域社会と教育の分野に貢献したいと考えている人。

●国際コミュニケーション学部 国際教養学科

国際コミュニケーション学部国際教養学科では、異文化理解を通して国際コミュニケーション能力を習得し、自文化についての知見をもちながら、国際的な場で活躍できる人材の育成を目的としています。そのため、生きたコミュニケーション能力を高めるための英語を身につける密度の濃い学習プログラムをはじめ、より洗練された日本語能力を磨きながら、多言語環境にも慣れていくための学習条件を整備しています。さらに、アメリカ、ヨーロッパ、アジア（日本を含む）をめぐる国際関係や文化、政治、社会について国際人としてのコモン

センスを培い、国際フィールドワークを実施して、人・モノ・コトに関する具体的な交流経験を深めます。諸外国からの留学生も広く受け入れ、多文化環境が自然に生まれるよう様々な工夫を凝らしています。

このような観点から本学科では以下のような学生を求めます。

- (1) 異文化を理解して国際的な場で活躍したいと考えている人。
- (2) アメリカ・ヨーロッパ・アジア（日本を含む）をめぐる文化、民族、国際関係について関心があり、国際社会や世界の中の地域社会に貢献したいと考えている人。
- (3) 日本語・日本文化を海外に紹介したいと考えている人。

●文学部 心理学科

文学部心理学科では、社会的諸事象に対して、心理学研究の知見に基づき論理的かつ批判的に分析・思考する能力を有し、さらにそれぞれの職域において指導的立場に立って、企画構想、問題解決などの実践を行なうことができる人材を育成します。こうした観点から文学部心理学科では、求める学生像を以下のように考えています。

《求める学生像》

- (1) [一般入試] 高等学校の各教科、とりわけ国語、外国語、公民、数学、生物、地理歴史について基本的学力を有しており、応用、発展的内容の学習へ進む準備ができている人。
[推薦入試] 高等学校段階の各教科の基本的内容について学習、理解しており、大学における教育・学習に支障なく移行、適応できる学力を有している人。
- (2) 人間の様々な営みと活動について多様な興味や関心を抱いており、個、集団、地域などの観点から、あるいは過去、あるいは現在について観察、考察し、さらに未来を展望することに魅力を感じている人。また、そのための新たな、より高度な知識や分析手法を習得したいという意欲のある人。
- (3) 大学において学習、習得した心理学の専門的知識、視座、研究方法と広義のリテラシー能力、コミュニケーション能力を、将来自己の人生、職業、社会貢献などに活かしていきたいという意思を有する人。

●文学部 人文社会学科

文学部人文社会学科では、社会的諸事象に対して、広く人文・社会諸学の成果に基づき論理的かつ批判的に分析・思考する能力を有し、さらにそれぞれの職域において指導的立場に立って、企画構想、問題解決などの実践を行なうことができる人材を育成します。こうした観点から文学部人文社会学科では、求める学生像を以下のように考えています。

《求める学生像》

- (1) [一般入試] 高等学校の各教科、とりわけ国語、外国語、地理歴史、公民、数学について基本的学力を有しており、応用、発展的内容の学習へ進む準備ができている人。
[推薦入試] 高等学校段階の各教科の基本的内容について学習、理解しており、大学における教育・学習に支障なく移行、適応できる学力を有している人。
- (2) 人間の様々な営みと活動について多様な興味や関心を抱いており、個、集団、地域などの観点から、あるいは過去、あるいは現在について観察、考察し、さらに未来を展望することに魅力を感じている人。また、そのための新たな、より高度な知識や分析手法を習得したいという意欲のある人。
- (3) 大学において学習、習得した人文学の専門的知識、視座、研究方法と広義のリテラシー能力、コミュニケーション能力を、将来自己の人生、職業、社会貢献などに活かしていきたいという意思を有する人。

●地域政策学部 地域政策学科

地域政策学部では、「地域を見つめ、地域を活かす」という学部理念とそれに対応する高度な「地域貢献力」を備えた人材を養成する教育課程を踏まえ、入学者受け入れ方針として、高等学校で学ぶ教科についての基礎的な学力を有することはもちろんのこと、受験生に以下のような能力、意欲、適性等を求めるものとします。

- (1) 故郷や住んでいる地域、自然環境を愛し、その変化に関心を持っている人。
- (2) 地域の問題や地方の課題を解決したいと思っている人。
- (3) 新しい政治や経済、行政のあり方を追求したい人。
- (4) 安全・安心で個性的なまちづくり・社会づくりに情熱を持っている人。
- (5) 知識の習得にとどまらず、豊かな人間性を育みたいと思っている人。
- (6) 世界の人々と交流し異文化体験を糧として成長したいと願っている人。

●短期大学部 ライフデザイン総合学科

短期大学部では、カリキュラムに示す各分野の学識を高めることを通して、主体的に自らのライフデザインを描けるようにすること、さらにはその技能を社会に還元する力を育成することを教育目標としています。

本短期大学部は、高等学校卒業までにさまざまな科目を広く学び基礎学力を身につけた女性で、次のような学生に広く門戸を開放しています。

- (1) 豊かな教養を求め、自国のことばや文化に関心の高い人。
- (2) 英語をはじめとする外国語の習得に強い意欲をもち、異文化理解に興味のある人。
- (3) 社会人・職業人になることの意味を積極的に考え、それに向かって努力できる人。
- (4) 人と人、人と社会の関係などに問題意識をもち、自ら成長したいと思っている人。
- (5) 高校時代までにサークル活動、ボランティア活動等に熱中したことがあり、その経験を語れる人。

いずれの入試においても基礎学力を有することを求めますが、推薦入試に関しては、豊かな経験を持つ学生に門戸を開いています。キャリアデザイン特別入試における小論文は、キャリア形成のための取組み、働くことの意味やその目的など、あわせて論理的思考力、的確な主張、文章の表現力などを問います。社会人入試については、社会人としての豊かな経験に基づく学習意欲を問います。外国人留学生については、日本語による会話・コミュニケーション能力などを重視します。

愛知大学大学院 入学者受入方針（アドミッション・ポリシー）

●法学研究科 公法学専攻

【博士後期課程】

法学研究科公法学専攻博士後期課程では、愛知大学大学院学則第6条の2に定められた教育研究上の目的に照らして、以下のような学生を受け入れ、養成していくことを目指しています。

- (1) 法学の学理の追求を目指す持続的な志をもつ者。
- (2) 自立した研究活動を担いうる論理的・体系的思考力と価値判断能力をもつ者。
- (3) 公法学についての深い専門的な知識・思考力と社会的現実への応用的能力をもつ者。
- (4) 現実の社会の変化から法的問題を嗅ぎ取る感受力と問題解決能力をもつ者。
- (5) グローバルな視点から法的・政治的問題を把握し、解決できる能力をもつ者。
- (6) 一般入試では、修士論文審査の他に外国語（2言語）の筆記試験によって、自立した研究活動を担いうる基礎的研究能力を判定します。2013年度入試から、法務博士の学位を有する者を対象にした法科大学院修了者特別入試（リサーチペーパー試験）が新たに導入され、リサーチペーパー試験で判定します。

●法学研究科 私法学専攻

【博士後期課程】

法学研究科私法学専攻博士後期課程では、愛知大学大学院学則第6条の2に定められた教育研究上の目的に照らして、以下のような学生を受け入れ、養成していくことを目指しています。

- (1) 法学の学理の追求を目指す持続的な志をもつ者。
- (2) 自立した研究活動を担いうる論理的・体系的思考力と価値判断能力をもつ者。
- (3) 私法学についての深い専門的な知識・思考力と社会的現実への応用的能力をもつ者。
- (4) 現実の社会の変化から法的問題を嗅ぎ取る感受力と問題解決能力をもつ者。
- (5) グローバルな視点から法的・政治的問題を把握し、解決できる能力をもつ者。
- (6) 一般入試では、修士論文審査の他に外国語（2言語）の筆記試験によって、自立した研究活動を担いうる基礎的研究能力を判定します。2013年度入試から、法務博士の学位を有する者を対象にした法科大学院修了者特別入試（リサーチペーパー試験）が新たに導入され、リサーチペーパー試験で判定します。

●経済学研究科 経済学専攻

【修士課程】

経済学研究科修士課程では、現代の経済社会について、広い視野からの学識に立ち、経済学に関する高度な知識と技能をもって分析・研究しうる能力をそなえた高度専門知識人の養成、及び経済に関する専門性を要する職業等に必要能力をもった高度専門職業人の育成を目指しています。

このような教育研究上の目的を達成するため、経済学研究科では以下のような学生を受け入れます。

- (1) 経済に強い関心を持ち、本研究科で研究するために必要な経済学に関する知識を有する人。
- (2) 自立して研究を行い経済学の学問的発展に寄与しようとする意欲のある人。
- (3) 経済学に関する専門知識を身につけ高度専門職業人として社会に貢献しようとする人。
- (4) 一般・外国人留学生入試では、専攻しようとする専門科目についての学力に加え、日本人の学生にあつては外国語の能力、外国人については日本語による会話・コミュニケーション能力を有する人。

(5) 社会人特別入試では、特定の専門分野に関心を持ち、適切かつ明確な研究テーマをもっている人。

【博士後期課程】

経済学研究科博士後期課程では、経済学分野の研究者として、自立して研究活動を行うに必要な高度な研究能力とその基礎となる学識の育成、並びに高度専門職業人として、より先端的な技能と研究能力の向上、及びその基礎となる豊かな学識の修得を目的としています。

このような教育研究上の目的を達成するため、入学希望者に対して、今後の研究に関して明確な計画を持ち、その計画を実現するために必要な専門分野に関する十分な学識と外国語についての知識と活用能力を持っていることを求めています。

●経営学研究科 経営学専攻

【修士課程】

経営学研究科修士課程では、学生の受け入れ方針を以下の通り定め、広く国内外から次のような学生を受け入れます。

- (1) 本研究科で学ぶために必要な学力を有し、経営学に深い関心を持ち、主体的に研究する意欲と能力を有する人。
- (2) 経営学に関する専門知識を身につけ高度専門職業人（税理士）をめざす人。
- (3) 社会で身につけた実務経験を理論として再構築しようとする人、あるいは、既に有している知識により高度な専門知識を付加しようとする人。
- (4) このような方針の下に、修士課程では①一般入学試験、②社会人特別入学試験、③推薦入学試験を実施しています。入学定員は修士課程 15 名です。

【博士後期課程】

経営学研究科博士後期課程では、学生の受け入れ方針を以下の通り定め、広く国内外から次のような学生を受け入れます。

- (1) 経営学の分野において、研究者として自立して研究活動を行おうとする人。
- (2) 経営学の分野において、高度に専門的な職業に従事して研究活動を行おうとする人。
- (3) このような方針の下に、博士後期課程では一般入学試験を実施しています。入学定員は博士後期課程 5 名です。

●中国研究科 中国研究専攻

【修士課程】

中国研究科修士課程では、本学の研究教育の基盤であり伝統でもある中国研究に特化しており、学部横断的に組織され、人文・社会各分野の研究を総合する能力を持った高度専門職業人、さらに研究者養成を目的とし、それをめざす意思と能力を持った学生を求めています。具体的には、修士課程においては、中国語文献の講読解析能力を土台に、相当の中国語能力（中国語検定 2 級、または旧 HSK6 級以上、または新 HSK5 級以上、もしくはそれと同等の語学力）およびそれに相応する英語など外国語能力、中華世界全体を俯瞰しうる幅広い視野と知識、その裏付けとなる問題意識と教養が求められます。在籍者の多数を占める留学生に対しては、日本における膨大な中国研究の蓄積を批判的に摂取しうるだけの日本語能力（日本語能力検定 N1 レベル、もしくはそれと同等の語学力）も当然ながら要求されます。

【博士後期課程】

中国研究科博士後期課程では、本学の研究教育の基盤であり伝統でもある中国研究に特化しており、学部横断的に組織され、人文・社会各分野の研究を総合する能力を持った高度専門職業人、さらに研究者養成を目的とし、それをめざす意思と能力を持った学生を求めています。具体的には、博士後期課程においては、基本的かつ広い視野を持ち、新たな研究分野を開拓し、学界の発展に寄与しうる一定の研究能力を持つ院生を期待しています。

また、中国人民大学、南開大学及び東呉大学との間でデュアルディグリー・プログラムが実施されており、専門分野についての諮問が行われます。分拠点学生においては上述の能力に加え、日本語の専門文献の読解能力が要求されます。

●国際コミュニケーション研究科 国際コミュニケーション専攻

【修士課程】

国際コミュニケーション研究科修士課程では、国際的にも国内的にもグローバル化が進行し、同時にローカルな視点も求められる現代の状況にあって、そのなかで活躍できる人材の育成を目指します。

こうした観点から国際コミュニケーション研究科で求める学生像はつぎの通りです。

- (1) 英語文献学、英語学、英語教育について研究し、それらの専門的な能力を活かした仕事に携わりたいと考えている人。
- (2) 日本語、日本語教育について研究し、それらの専門的な能力を活かした仕事に携わりたいと考えている人。
- (3) 社会科学的思考に関心があり、国際関係の仕事に就きたいと考えている人。
- (4) 国際商取引、商事仲裁など国際ビジネスに関心をもっている人。
- (5) 異文化、多文化共生、国際コミュニケーションについて関心がある人。

●文学研究科 日本文化専攻

【修士課程】

文学研究科日本文化専攻修士課程では、以下の通り入学者受入方針を定めます。

- (1) 本専攻進学に先立って、学部教育における一般教養と専門的知識を備えている人。
- (2) 専攻の個別専門分野である日本語学、日本文学、日本民俗学、日本史学を中心に、古代から近現代に至るまで、日本文化における独自性や多面性などの諸問題について総合的に把握する意欲を有する人。

【博士後期課程】

文学研究科日本文化専攻博士後期課程では、以下の通り入学者受入方針を定めます。

- (1) 修士の学位を取得した上で、修士論文を基に、専門的な知識、思考力、分析力など研究能力についての更なる向上が見込める人。
- (2) 日本文化に関する専門的な教養を有した上で、さらにそれをより広い文脈の中で相対化し、横断的に隣接諸分野へと架橋し得る柔軟性と思考力を有する人。
- (3) 日本文化に関する専門的研究を深め、研究者として当該分野における研究を発展させ得る潜在能力を有すると共に、教育者として高等教育においてその能力を発揮したいという意欲を持つ人。

●文学研究科 地域社会システム専攻

【修士課程】

文学研究科地域社会システム専攻修士課程では、地域社会に関する多様な領域の個別研究の成果と、諸課題に関する学際的連携による研究をふまえて、地域社会の地理・環境、経済・政治活動、組織・集団関係、地域文化、住民の生活・活動などから構成される地域社会システムについて、その構造と変動過程の解明をめざして多面的な研究を行い、高度な専門職業人を養成することを目的とし、以下の人を入学者として受け入れます。

- (1) 本研究科で学ぶために必要な学力を身につけている人。
- (2) 地域社会への強い関心を持ち、地域社会の構造と変動過程について、主体的に研究する意欲がある人。
- (3) 地域社会に関する多様な分野の専門知識を修得して、地域社会への貢献を目指す人。

【博士後期課程】

文学研究科地域社会システム専攻博士後期課程では、地域政策、地域計画、地域活動などの諸要素をも組み込んだ地域社会の再構築を構想する研究、教育を組織的、実践的に行うことによって新たな地域社会システムのあり方を探究し、研究者及び地域計画に関わる高度な専門的職業人を養成することを目的とし、以下の人を入学者として受け入れます。

- (1) 地域社会の多様な分野に関する幅広い知識を修得している人。
- (2) 地域社会の諸問題について、客観的な分析にもとづいた論理思考により、独自の見解を体系化できる能力がある人。
- (3) すでに修得した専門知識をより深めながら教育職や研究職に就く意志がある人。

●文学研究科 欧米文化専攻

【修士課程】

文学研究科欧米文化専攻修士課程では、以下の通り入学者受入方針を定めます。

- (1) ヨーロッパとアメリカの文化一般を、思想・文学・言語学の各分野で幅広く研究を行う意思を持つ人。
- (2) 欧米の文化の諸相をその歴史を通して相対的に究明し、それを礎にして教育的実践や新たな文化の発展に寄与し得る潜在能力を持つ人。
- (3) 本専攻進学に先立つ条件として、学部教育における一般教養と専門的知識を十分備えていなければならない。
- (4) 欧米の原典を読むに先立って、相応の外国語能力を持っていることを条件とする。

【博士後期課程】

文学研究科欧米文化専攻博士後期課程では、以下の通り入学者受入方針を定めます。

- (1) 欧米の文化一般の幅広い知識を備えていることを前提とし、さらに専門的研究を深めていく強い意志を持っている人。
- (2) 客観的な批判と分析に基づいた論理的思考により、研究対象を体系化し得る潜在能力を持っている人。
- (3) 指導的立場に立って文化創造をしたり、教育職や研究職に就く堅い意志を持つ人。

愛知大学専門職大学院 入学者受入方針（アドミッション・ポリシー）

●法科大学院

法科大学院では、入学者の受入れについて、司法制度改革の主旨から「公平性、開放性、多様性」に加えて、本学独自の理念、法曹像を勘案して、次のアドミッション・ポリシーでのぞみます。

- （１）建学の精神である、地域社会に貢献するローヤー（地域社会に貢献するホーム・ローヤー、地域社会に貢献するビジネス・ローヤー）を目指す学生を受け入れること。
- （２）多様な知識または経験を有する者を積極的に入学させること。
- （３）入学者の適性をはかるために、多様な観点から公平かつ客観的に評価すること。
- （４）法科大学院における履修の前提として要求される判断力、思考力、分析力、表現力などの資質を備えていること。
- （５）将来、法曹としての豊かな人間性や感受性を備えていること。

また、法学部以外の学部出身者や社会人なども入学者の３割以上として、多様な人材の確保に努めます。